

様式第22号（第5条関係）

令和 7 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所 在 地	笠岡市高島5039-1
協 議 会 名	高島まちづくり協議会
協 議 会 長 名	会長 山本 健三

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）実績報告書

令和 6 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 254 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 交付金決算額 1,489,000 円

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 ①	交付金決算額	
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③
1,489,000	1,489,000	0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	回漕店運営運営事業
前年からの繰越金	☐ あり ☒ なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	島民の生活基盤である定期船航路を維持する為、定期船発着の安全管理、切符の販売や荷物の集荷、乗降客の安全管理を行う回漕店業務を実施する。
【効果】	利用者が安心、安全に利用できるような心掛けること。高齢化が進み担い手が無い中、若い世代が業務に関わり島で収入を得ることが出来、地域の活性化にも繋がる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

高島回漕店及び高島港

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 15800 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 15790 人（イ）
○団 体： （団体名） 高島自治会 ， （団体名）
（団体名） ， （団体名）

5 実施内容

定期便が安全に発着出来るように手助けをし、乗降客の安全確保、切符販売、荷物やメール便の集荷、回漕店回りの清掃、高齢者宅へ宅急便などの配達。

6 決算額

1,572,000 円（うち交付金分 972,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	海上の荒れているときなど乗降時に安心して利用できています。
【課題】	宅急便を含め全ての荷物は回漕店止まりです。

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	回漕店運営運営事業

【収入の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金	① 972,000	972,000	0	当該年度分
その他収入	600,000	600,000	0	
	600,000	600,000	0	三洋汽船より
			0	
			0	
計	1,572,000	1,572,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
賃金	1,572,000	1,572,000	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	1,572,000	1,572,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 972,000

市交付金の余剰金 ①－② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出納簿

活動交付金

回漕店運営運営事業

賃金

1

[illegible]

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 1

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	回漕店運営運営事業

活動目的	島民の生活基盤である定期船航路を維持する為、定期船発着の安全管理、切符の販売や荷物の集荷、乗降客の安全管理を行う回漕店業務を実施する。
実施内容	定期便が安全に発着出来るように手助けをし、乗降客の安全確保、切符販売、荷物やメール便の集荷、回漕店回りの清掃、高齢者宅へ宅急便などの配達。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域の人々で共有することができたか。	3
	活動に参加する人々で話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題について人々で話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
海上の荒れているときなど乗降時に安心して利用できています。	宅急便を含め全ての荷物は回漕店止まりです。

今後の活動の方向性・改善策

回漕店は島の玄関口でもあります。島民

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	婆一ちやるショップ運営事業
前年からの繰越金	☐ あり ☒ なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	島には商店が無い為、高齢化が進む中、高齢者が安心して暮らせる島づくりを目指し、笠岡市内の商店街から商品を仕入れ商店を開く。また、燃料（灯油等）は危険物の為定期便に乗せることが出来ないため、地元の方の協力で外浦港から高島間の運搬の協力を得る。
【効果】	食料品、生活用品など島で購入出来ることで、安心して島での生活を送ることが出来る。購入時に注文者が集まり、他愛の無い会話も弾むひと時でも有ります。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

婆一ちやるショップ：高島回漕店内で販売
燃料（灯油等）：自治会倉庫→高島港→外浦港（販売店が給油）→高島港→自治会倉庫（鍵付き）

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 202 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 192 人（イ）
○団 体： （団体名） 高島自治会 ， （団体名）
（団体名） ， （団体名）

5 実施内容

月 2 回商店を開きます。利用者が毎回注文用紙に記入、集計した記入用紙を市内商店街に注文、届いた商品は検品後仕分けをし注文者が取りに来られます。体調の悪い方や持ち運べない商品はグリスロで届けています。

6 決算額

157,000 円（うち交付金分 157,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	安否確認にも繋がり、他の方の注文商品を確認しながら次回の注文の参考にされています。買い物に来られた方やスタッフの方とのお喋りの時間も楽しいひと時です。日用品は勿論ですが灯油等の燃料は危険物で定期便に乗せることが出来ないなのでこの事業はとても喜ばれています。
【課題】	利用されていない方への呼びかけを続けて行きます。

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	婆一ちやるショップ運営事業

【収入の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金	① 157,000	157,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	157,000	157,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費	5,000	5,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
運賃	96,000	96,000	0	〃
運搬費	56,000	56,000	0	〃
			0	
			0	
計	157,000	157,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 157,000

市交付金の余剰金 ①－② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 婆一ちやるショップ運営事業

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	7	3	31	スタッフ	商品支払いの船交通費	5,000	5,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						5,000	

活動交付金

婆一ちやるショップ運営事業

運賃

1

[illegible]

活動交付金

婆一ちやるショップ運営事業

運搬費

1

[illegible]

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 2

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	婆一ちやるショップ運営事業

活動目的	島には商店が無い為、高齢化が進む中、高齢者が安心して暮らせる島づくりを目指し、笠岡市内の商店街から商品を仕入れ商店を開く。また、燃料(灯油等)は危険物の為定期便に乗せることが出来ないため、地元の方の協力で外浦港から高島間の運搬の協力を得る。
実施内容	月2回商店を開きます。利用者が毎回注文用紙に記入、集計した記入用紙を市内商店街に注文、届いた商品は検品後仕分けをし注文者が取りに来られます。体調の悪い方や持ち運べない商品はグリスロで届けています。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
安否確認にも繋がり、他の方の注文商品を確認しながら次回の注文の参考にされています。買い物に来られた方やスタッフの方とのお喋りの時間も楽しいひと時です。日用品は勿論ですが灯油等の燃料は危険物で定期便に乗せることが出来ないなのでこの事業はとても喜ばれています。	利用されていない方への呼びかけを続けて行きます。

今後の活動の方向性・改善策

島での暮らしが困難で島を離れる方も居られますが、安心して利用できる事業のひとつです。島には商店が無いので笠岡市内の商店から月2回商品を仕入れ注文者(高齢者・障害者)の方が各自島に来られています。毎月広報でお知らせはしていますが、気兼ねなく利用できるよう声掛けも続けて行きます。灯油等の燃料は定期船に乗せることが出来ないのもとても有難い事業のひとつです。

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	定期便減便対策事業
前年からの繰越金	☐ あり ☒ なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	定期便減便、運行時間ダイヤ改正で島民の利便性が失われるのを防ぐ為、減便対策を行い島民、島外の人たちの生活を確保する。
【効果】	高齢者の家族が起床時にゆったりとした時間が持てる。また、観光客、民宿等の利用者も増え島に活気が出てくる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

高島港・神外港間

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 710 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 700 人（イ）
○団体： （団体名） 高島自治会 ， （団体名）
（団体名） ， （団体名）

5 実施内容

地元で渡船業を営んで居る藪田渡船を利用して、高島～神外間を運行。利用者が1時間前までに藪田渡船に利用の連絡を入れる。利用者が居ないときは運休とします。委託料月30,000円と利用者一人200円を藪田渡船に支払います。

6 決算額

360,000 円（うち交付金分 360,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	島民の方の利用は勿論ですが、観光客、民宿利用者の方の利用も増えています
【課題】	予算の関係上曜日が限定されての運行になっています。利用状況を確認しながら検討していけたらと思います。

〔活動交付金〕

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動N o	3
活 動 名	定期便減便対策事業

【収入の部】

(単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金	① 360,000	360,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	360,000	360,000	0	

【支出の部】

(単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
委託料	360,000	360,000	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	360,000	360,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 360,000

市交付金の余剰金 ①－② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分

活動交付金

活動名

定期便減便対策事業

費目

委託料

No.

1

[illegible]

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 3

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	定期便減便対策事業

活動目的	定期便減便、運行時間ダイヤ改正で島民の利便性が失われるのを防ぐ為、減便対策を行い島民、島外の人たちの生活を確保する。
実施内容	地元で渡船業を営んで居る藪田渡船を利用して、高島～神外間を運行。利用者が1時間前までに藪田渡船に利用の連絡を入れる。利用者が居ないときは運休とします。委託料月30,000円と利用者一人200円を藪田渡船に支払います。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 島民の方の利用は勿論ですが、観光客、民宿利用者の方の利用も増えています	現状と課題 予算の関係上曜日が限定されての運行になっています。利用状況を確認しながら検討していけたらと思います。
--	---

今後の活動の方向性・改善策

運行予定日に電話予約して運行が決定されるため、利用者が一人で運行される時もあり、「自分のためだ運行されるのは申し訳ない」といった利用控えが起きる場合がある。運行予定を利用者間で共有出来れば、乗り合い感覚で利用しやすくなり、結果として稼働率が向上すると考えられる。また、リアルタイムで情報が提供されることで、乗船忘れの防止が出来るものと考えられる。